

研究発表プログラム

口頭発表時間

発表 9分以内

質問 3分以内

ポスター発表時間

1時間30分以内

10月9日(水)

< A会場 >

9:30 ~ 12:30

口頭発表

雪氷物理 (座長: 島田互・八久保晶弘)

- | | | |
|------|---|---|
| A1-1 | ガスハイドレート(包接氷)のガス密度 | 海老沼孝郎 ^o ・鎌田慈 ^o ・竹谷敏 ^o ・内田努 ^o ・長尾二郎 ^o ・大村亮 ^o ・皆川秀紀 ^o ・成田英夫 ^o (産業技術総合研究所ガスハイドレート研究グループ) |
| A1-2 | 混合ガスハイドレートのCP/MAS ¹³ C-NMR測定 | 木田真人 ^o ・坂上寛敏 ^o ・松田剛 ^o ・高橋信夫 ^o (北見工大), 竹谷敏 ^o ・海老沼孝郎 ^o ・成田英夫 ^o (産総研) |
| A1-3 | 準包接水和物(TBAB-hydrate)のガス取込と結晶構造 | 島田互 ^o ・近藤英昌 ^o ・鎌田慈 ^o ・海老沼孝郎 ^o ・大山裕之 ^o ・竹谷敏 ^o ・内田努 ^o ・長尾二郎 ^o ・成田英夫 ^o (産総研) |
| A1-4 | TBAB準包接水和物を使ったガス分離実験 | 鎌田慈 ^o ・島田互 ^o ・大山裕之 ^o ・海老沼孝郎 ^o ・竹谷敏 ^o ・内田努 ^o ・長尾二郎 ^o ・成田英夫 ^o (産総研) |
| A1-5 | トレハロース水溶液のガラス状凍結 | 清忠師 ^o ・権田武彦 ^o ・有馬義康 ^o (愛知学院大学教養部) |
| A1-6 | 不凍糖タンパク質水溶液からの氷結晶の振動成長 | 西村良浩 ^o ・古川義純 ^o (北大・低温研), 横山悦郎 ^o (学習院大・計センター) |
| A1-7 | SiO ₂ 微粒子を含んだ氷の定歪速度押し出し変形実験 | 船木一人 ^o (長岡技科大大学院), 田中玲良 ^o (長岡技科大/現・北大大学院水産), 東信彦 ^o (長岡技科大) |
| A1-8 | 焼結効果を考慮した氷摩擦の凝着せん断理論 | 前野紀一 ^o (北海道大学低温科学研究所) |

(休憩10分)

積雪の構造・物理、雪渓 (座長: 竹谷敏)

- | | | |
|-------|---|--|
| A1-9 | 新積雪の密度と降雪強度との関係 | 梶川正弘 ^o ・猿渡琢 ^o ・金谷晃誠 ^o (秋田大学工学資源学部) |
| A1-10 | 山形地方における積雪の積算RAM硬度と水当量との関係 | 山谷睦 ^o (日本地下水開発㈱), 渡辺邦雄 ^o ・嵐田修 ^o ・東海林隆 ^o (N-PSG工法研究会), 塚原初男 ^o (山形大学) |
| A1-11 | 山形蔵王における雪氷現象の観測(平成13年度) | 沼澤喜一 ^o ・山谷睦 ^o ・原田俊明 ^o ・沖田圭右 ^o ・安彦宏人 ^o (日本地下水開発㈱) |
| A1-12 | The reason of perennial snow patches stability for many years | G.E.Glazirin ^o ・Y.Kodama ^o ・T.Ohata ^o (Institute of Low Temperature Sciences, Hokkaido University, Japan) |

10月9日(水) 9:30~12:30
< B会場 > 口頭発表

交通 (座長: 松沢勝)

- | | | |
|------|---|---|
| B1-1 | エンジン廃熱利用の自動車学校構内道路の融雪 | 上田恭嗣 ^o (東京国際大学), 須田昌則 (長岡技術科学大学大学院), 梅村晃由 (長岡技術科学大学) |
| B1-2 | 札幌市内におけるタクシーGPSデータを用いた豪雪時の交通実態調査 | 宮本修司 ^o ・浅野基樹・林華奈子 (北海道開発土木研究所交通研究室) |
| B1-3 | 吹雪時における道路上の視程 | 松沢勝 ^o (開発土木研), 竹内政夫 (雪研スノーイーターズ), 小林利章 (日本気象協会) |
| B1-4 | 空気砲を用いた落水雪によるパラスト飛散現象の再現試験(3) - パラストの飛散距離, 飛散高さ, 飛散方向 - | 河島克久 ^o ・飯倉茂弘・遠藤徹・藤井俊茂 (鉄道総合技術研究所) |

(休憩10分)

吹雪 (座長: 杉浦幸之助、西村浩一)

- | | | |
|-------|-----------------------------------|---|
| B1-5 | 地吹雪の $k-\varepsilon$ 乱流モデルによる流動解析 | 菊地卓郎 ^o (福島高専), 福嶋祐介 (長岡技大), 西村浩一 (北大低温研) |
| B1-6 | 吹雪粒子速度の鉛直分布 | 根本征樹 ^o ・小林俊一 (新潟大災害研), 西村浩一 (北大低温研) |
| B1-7 | 吹雪の発達に関する風洞実験(7) - 吹雪跳躍層の発達について - | 佐藤威 ^o ・小杉健二 (防災科研・雪氷防災研究部門) |
| B1-8 | アラスカ州バローにおける真の固体降水量に及ぼす吹雪の影響 | 杉浦幸之助 ^o (地球観測フロンティア研究システム), 大畑哲夫 (地球観測フロンティア研究システム/北大低温研), Daqing Yang (アラスカ大学水文環境研究所) |
| B1-9 | 降雪風洞による吹きだまりの再現(その4) | 中静仁平 ^o (北海道工業大学), 苫米地司, 老川進, 佐藤威 |
| B1-10 | 降雪風洞による吹きだまりの再現(その5) 建物後流の堆積プロセス | 老川進 ^o (清水建設(株)技術研究所), 苫米地司・中静仁平・細川和彦 (北海道工業大学), 佐藤威・小杉健二・望月重人 (防災科学技術研究所雪氷防災研究部門) |
| B1-11 | 高規格翼型防雪柵の性能評価 1) 風洞実験 | 嶋田潔 (佐藤建設工業(株)), 佐藤篤司 ^o (独立行政法人防災研長岡雪氷防災) |
| B1-12 | 高規格翼型防雪柵の性能評価 2) 実規模現地試験 | 嶋田潔 ^o (佐藤建設工業), 佐藤篤司 (独立行政法人防災研長岡雪氷防災) |

10月10日(木)
ポスター発表

10:00~11:30
第1部

雪崩 1

- P1-1 東北地方における雪崩地形の分布と形態的特徴
関口辰夫。(国土地理院), 秋山一弥(土木研究所)
- P1-2 積雪期における斜面浸食現象の地形的特徴
武士俊也。・秋山一弥(土木研究所新潟試験所), 関口辰夫(国土地理院), 大図和哉(国際航業株)
- P1-3 白馬村八方尾根北側斜面で見られる積雪状況について
池田慎二(株アルゴス雪氷技術センター)
- P1-4 雪崩発生検知システムの開発(7) - 携帯電話を用いた雪崩警報システム -
飯倉茂弘。・河島克久・遠藤徹・藤井俊茂(鉄道総合技術研究所), 池田昌俊(ジェイアール総研電気システム)
- P1-5 雪崩震動を利用した雪崩自動観測システム(2)
秋山一弥。・武士俊也(土木研究所新潟試験所)
- P1-6 雪崩によって生ずる地震動の観測()
今西伸行。(北大低温研), 関口辰夫(国土地理院), 森谷武男(北大理学研究科), 西村浩一・山田知充(北大低温研)

気候 1

- P1-7 東シベリアの極地ツンドラ地帯における小湖沼の水収支
石井吉之。・兒玉裕二(北大低温研), 矢吹裕伯(地球観測フロンティア)
- P1-8 アラスカ凍土地帯における熱・水・CO₂観測
兒玉裕二。・石井吉之・石川信敬(北海道大学低温科学研究所)
- P1-9 ツンドラ植生地の水・エネルギー循環過程() ~ 輸送抵抗・係数の検討 ~
佐藤軌文。・兒玉裕二・石井吉之・大畑哲夫・石川信敬(北海道大学低温科学研究所)
- P1-10 気候の年々及び約10年変動の指標としての万年雪 - 鳥海山の事例を中心にして -
土屋巖(元香川大学農学部)
- P1-11 ニューラルネットワークによる最大積雪深の予測
前田博司(福井工業大学)

雪氷物理

- P1-12 CH₄ + CO₂混合ガスハイドレートの結晶構造
竹谷敏。・鎌田慈・内田努・長尾二郎・大村亮・皆川秀紀・海老沼孝郎・成田英夫(産総研)
- P1-13 ロシア・バイカル湖におけるメタンハイドレート調査
庄子仁。・高橋信夫・南尚嗣・坂上寛敏・Tatiana MATVEEVA・八久保晶弘・百武欣二・阿部清・厚谷郁夫(北見工大)
- P1-14 土中におけるガスハイドレート生成に関する研究
北村理。・百武欣二・宮本淳・阿部清・庄子仁(北見工大)
- P1-15 氷点下温度領域におけるCO₂・CH₄混合ガスハイドレートの相図
八久保晶弘。・三浦拓・百武欣二・阿部清・庄子仁(北見工大)
- P1-16 CO₂ハイドレートを含む氷の一軸圧縮試験
滝英紀。・宮本淳・百武欣二・阿部清・庄子仁(北見工大)
- P1-17 2結晶氷の単純せん断による塑性変形
福田明治。・山下龍(室蘭工業大学)
- P1-18 復氷過程における負圧と蒸気泡の発生
田中るみ。・対馬勝年(富山大学)
- P1-19 TSD法による氷床コアの電気的性質
小黒貢。(北教大旭川), 本堂武夫(北大低温研), 前晋爾(旭川高専)
- P1-20 氷結晶の一方向成長・融解に対する重力効果
長島和茂。(明大物理), 古川義純(北大低温研)

凍土・凍上

- P1-21 ネパール，クーンブ・ヒマールの岩石氷河分布と表面流動 朝日克彦°・渡辺悌二（北大・地球環境），白岩孝行（北大・低温研）
- P1-22 圧縮と曲げにおける砂凍土の弾性係数の比較 上田保司°・隅谷大作・生頼孝博（株精研）
- P1-23 凍結地盤の融解過程における強度変化に関する基礎実験 杉山友康°・布川修・太田直之・飯倉茂弘・河島克久（鉄道総合技術研究所）
- P1-24 北海道置戸町鹿ノ子ダム左岸の風穴と地温 曾根敏雄（北大・低温研）
- P1-25 立山、内蔵助カールでの山岳永久凍土の形成維持機構 福井幸太郎（東京都立大学・日本学術振興会特別研究員）
- P1-26 富士山の地温分布変化が示す過去25年間の永久凍土の縮小 藤井理行°（極地研），福井幸太郎（都立大），池田敦（筑波大），増沢武弘（静岡大・理）
- P1-27 融凍期における土中水分観測 布川修°・杉山友康・太田直之・飯倉茂弘・河島克久（鉄道総合技術研究所）
- P1-28 シベリアにおける時間領域電磁探査法による永久凍土の比抵抗構造について 原田鉦一郎°（宮城県農業短期大学），和田一成（三井金属資源開発株），末吉哲雄（ETH），福田正己（北大低温研）

降雪

- P1-29 北海道北見市における短期間降雪と積雪変化 渡邊誠°（北見工業大学），榎本浩之（北見工業大学 / 観測フロンティア）
- P1-30 新潟県中部で観測された雪雲構造と降水分布 中井専人°・石坂雅昭・岩波越・三隅良平・朴相郡・清水増治郎・小林俊市（防災科学技術研究所）
- P1-31 人工雲場の水蒸気密度と雪結晶の成長 薄井たかし°（富山大院），対馬勝年（富山大）
- P1-32 弱風時の視程と降雪強度の関係について 佐藤威°・望月重人・小杉健二・阿部修（防災科研・雪氷防災研究部門），大川陽平（新潟電機株）
- P1-33 強い降雪時の降雪粒子種の特徴 - 画像処理手法を用いた自動観測から 石坂雅昭°（防災科研・雪氷），椎名徹・得能彰（富山高専），村本健一郎（金沢大学・工学部）
- P1-34 一降雨・降雪事象中での⁷Beの濃度変動と気象条件 赤田尚史°・川端一史・長谷川英尚・大塚良仁（財団法人環境科学技術研究所），木村盛児・佐藤忠広（東北ニュークリア株），近藤邦男・稲葉次郎（財団法人環境科学技術研究所）
- P1-35 高緯度地帯強風積雪域における降水量計比較観測（2001～2002年） 杉浦幸之助°（地球観測フロンティア研究システム），大畑哲夫（地球観測フロンティア研究システム / 北大低温研），Daqing Yang（アラスカ大学水文環境研究所）
- P1-36 地上気温による降水の雨雪判別法の検討 横山宏太郎°（中央農研北陸），菅谷博（近畿中国四国農研），井上聡（農環研）

積雪分布

- P1-37 半球規模積雪量推定における雪物理モデルの大気強制項に対する感度解析 齊藤和之。(地球フロンティア研究システム), 山崎剛(地球観測フロンティア研究システム), 増田耕一(地球フロンティア研究システム)
- P1-38 新潟県内における寒候期旬降水量の観測地点毎の相関 清水増治郎(防災科研雪氷部門)
- P1-39 融雪指数の定量的利用に関する研究 大野宏之。(農環研), 矢吹裕伯(観測フロンティア), 大畑哲夫(低温研), 水津重雄(ジオシステムズ)
- P1-40 積雪深を考慮したPCAによる地すべり危険度の評価 伊藤驍(国立秋田高専)

融雪

- P1-41 北アルプス山岳地域で見られた2002年5月の融雪遅延と熱収支 手塚耕一郎・大塚憲一・川田邦夫(富山大学)
- P1-42 多雪山地流域における冬期の積雪底面融解量の不均一性 佐藤大輔・山崎学・石井吉之(北大低温研)
- P1-43 サハリン南部の季節凍土流域における融雪流出 野村睦・笹賀一郎・佐藤冬樹・柴田英昭・植村滋(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター), 藤原滉一郎(北海道大学名誉教授)

その他

- P1-44 多雪地域における除雪ボランティア組織の現状について 沼野夏生。(東北工業大学), 諏訪部将(株ナカノコーポレーション)
- P1-45 新聞紙上の雪氷現象 納口恭明・下川信也(防災科学技術研究所)
- P1-46 昭和20年大雪時の雪に関する新聞記事 杉森正義。(福井県生コン工組/福井大地域協同研究セ), 川本義海・本多義明(福井大工)

10月10日(木) 13:00~14:30
ポスター発表 第2部

雪崩2

- P2-1 3.27左俣谷なだれの空中写真 松田宏°・本間信一(国際航業株)
- P2-2 2001/02年冬季の東北地方における雪崩災害と気象状況 小杉健二°・阿部修・佐藤威・望月重人(防災科研・雪氷防災部門)
- P2-3 雪崩及び融雪災害発生前72時間の積雪重量と積雪深の変化速度と変化量 羽賀秀樹°・石丸民之永・丸山敏介(新潟電機株), 阿部修・佐藤威(防災科学技術研究所)
- P2-4 SNOWPACKによる北海道の積雪のシミュレーション 馬場恵美子°・平島寛行・西村浩一(北大低温研), Michael Lehning(SFISAR)
- P2-5 水平面と傾斜面に積もった人工雪の剪断強度の比較 阿部修°・望月重人(防災科研雪氷防災研究部門)
- P2-6 妙高・幕の沢で発生した雪崩の流下速度 - 乾雪雪崩と湿雪雪崩の比較 - 竹内由香里°・山野井克己・遠藤八十一・村上茂樹・庭野昭二・渡辺成雄(森林総研十日町), 和泉薫(新潟大災害研), 武士俊也(土木研新潟試験所)
- P2-7 雪崩発生量と見通し角の関係とハザードマップへの応用 上石勲°(株アルゴス), 和泉薫(新潟大災害研), 早川典生(長岡技科大)

雪氷化学1

- P2-8 2001-2002年冬季の北アルプス山岳地域における積雪の同位体比と化学組成 遠山和大°・高井玄生(富山大学理工学研究科), 鶴田元気・佐竹洋(富山大学理学部), 川田邦夫(富山大学極東地域研究センター)
- P2-9 熱分解炉を用いた微量水試料の水素・酸素安定同位体比測定法 植村立°・山田桂大・吉田尚弘(東京工業大学大学院), 栗田直幸(地球フロンティア)
- P2-10 間隙水の流下に伴う湿潤積雪内部の同位体比の変化について 橋本重将°(名古屋大学大学院理学研究科), 周石・(湖南師範大学), 坂井亜規子(名古屋大学大学院環境学研究科), 中尾正義(総合地球環境学研究所), 上田豊(名古屋大学大学院環境学研究科), 石川信敬・成田英器(北海道大学低温科学研究所)
- P2-11 冬期蔵王の着氷の化学組成(2000-2001) 山下千尋・柳澤文孝°・松木兼一郎(山形大学理学部), 阿部修(防災科学技術研究所雪氷防災研究部門), 矢野勝俊(山形大学理学部)
- P2-12 新雪の導電率の海岸距離と風程を用いた推定 鈴木正嘉・上久保博之・木下靖英(中部電力株), 松下拓樹°・権頭芳浩(株自然環境科学研究所)

気候 2

- P2-13 シベリア・ツンドラ地表面における水熱交換過程の特徴
大畑哲夫。(北海道大学低温科学研究所/地球観測フロンティア研究システム), 矢吹裕伯(地球観測フロンティア研究システム), 兒玉裕二(北海道大学低温科学研究所)
- P2-14 東シベリアヤクーツク周辺域・アラス地帯における水・熱収支特性
矢吹裕伯。(地球観測フロンティア研究システム), 石井吉之(北海道大学低温科学研究所), 大畑哲夫(地球観測フロンティア研究システム/北海道大学低温科学研究所)
- P2-15 ツンドラ陸域水循環モデルの構築(3) - 吹き溜まりの影響を考慮したモデルによるツンドラ地方の水熱状態の推定 -
平島寛行。・大畑哲夫(北海道大学低温科学研究所)
- P2-16 Solid particle and environmental records at a mountain glacier in western China
HAN Jiankang。・ZHU Fengnian (Research Institute of Environment and Resources, Hunan Normal University), ZHANG Wanchang (Nanjing U.), NAKAWO Masayoshi (RIHN), GOTO-AZUMA Kumiko (NIPR)
- P2-17 タクラマカン沙漠周辺の山岳域における風送ダスト観測
阿部修。・小杉健二・佐藤威・清水増治郎・山口悟・佐藤篤司(防災科研雪氷防災研究部門), 魏文寿・徐俊栄・劉明哲(中国科学院新疆生態与地理研究所), 石丸民之永・宮腰秀巳(新潟電機株), 松田益義(株MTS雪氷研究所)

計測 1

- P2-18 GP反射面の積雪形状によるGPパス幅の変化について
横山尚志。(独立行政法人電子航法研究所), 戸川斉(株トーキン・イ・エム・シ・エンジニアリング), 中田和一(青森大学工学部電子システム工学科)
- P2-19 熱源内蔵型積雪含水率計の試み
井上聡。(農環研), 小南靖弘・横山宏太郎(中央農研北陸センター), 大野宏之(農環研), 納口恭明(防災科研)
- P2-20 UHF/C帯での積雪誘電率測定
中田和一。(青森大学工学部電子システム工学科), 戸川斉(株トーキンEMCエンジニアリング), 横山尚志(独立行政法人電子航法研究所)
- P2-21 光ファイバーセンサによる雪の応力測定
高田英治・貴堂靖昭。・泉吉紀・正和紗央里・谷昌樹・本田大輔(富山工業高等専門学校), 川田邦夫(富山大学)
- P2-22 超音波パルスによる路面状況測定システムの研究
高島大裕。・高田英治・貴堂靖昭・山本一良(富山高専), 丸山敏介(新潟電機)

氷河

- P2-23 電磁探査法および重力探査法によるモレーンと岩屑被覆氷河の内部構造の探査 原田 鉦一郎 (宮城県農業短期大学), 齋藤光義 (三井金属資源開発株), 山田知充・西村浩一 (北大低温研)
- P2-24 南米・北パタゴニア氷原の2~3の氷河の最近の変則的な変動 安仁屋政武 (筑波大学地球科学系), 谷川朋範・中田智丈 (筑波大学大学院生命環境科学研究科)
- P2-25 2001年ロシア、アルタイ山脈Sofiyskiy氷河における雪氷微生物を指標としたアイスコア解析 植竹淳・幸島司郎 (東工大), 中澤文男 (名大), 河野美香 (極地研), 亀田貴雄 (北見工大), 鈴木啓助 (信大), 藤井理行 (極地研)
- P2-26 ロシア・アルタイ山脈ソフィスキー氷河で採取された25.1mコアの層位および氷結晶の特徴 亀田貴雄 (北見工大), 鈴木啓助 (信州大理), 河野美香 (極地研), 中澤文男 (名大理), 植竹淳 (東工大生命理工), 藤井理行 (極地研)
- P2-27 クレーター氷河の動力学1.基盤地形探査と2次元流動モデル 白岩孝行 (北大低温研), H.Blatter (ETH Zurich), Y.Macheret (Inst.Geography,RAS), Y.D.Muravyev (Inst.Volcanology,RAS)
- P2-28 ネパールヒマラヤ・イムジャ氷河湖の拡大と湖盆の変化 坂井亜規子 (名大), 西村浩一 (北大低温研), 矢吹裕伯 (地球観測フロンティア), 齋藤光義 (三井金属資源開発株), 山田知充 (北大低温研), 藤田耕史 (名大), C.B.グルン (DHM,Nepal)
- P2-29 カナダ、マウントローガンにおける2002年氷河観測報告 東久美子 (極地研), 白岩孝行 (北大低温研), 的場澄人 (極地研), 瀨川高弘 (東工大), 金森昌作 (北大低温研), 藤井理行 (極地研), 山崎哲秀 (アバンナット)
- P2-30 アラスカの氷河における雪氷生物と表面アルベド低下効果 竹内望 (総合地球環境学研究所)

積雪の構造・物理

- P2-31 積雪モデル国際比較の現状と我々の問題点 山崎剛 (地球観測フロンティア), 本谷研・高田久美子 (地球フロンティア)
- P2-32 湿潤積雪地帯への積雪変質モデル (SNOWPACK) の適応 山口悟 (佐藤篤司 (防災科研・雪氷防災部門), Michael Lehning (Swiss Federal Institute for Snow and Avalanche Research))
- P2-33 反射音の影響を除いた積雪の音響減衰係数の測定 小南靖弘 (横山宏太郎 (中央農研北陸), 井上聡 (農環研))
- P2-34 プッシュプルゲージにより測定した硬度とせん断強度の関係 山野井克己 (竹内由香里・遠藤八十一・村上茂樹・庭野昭二 (森林総合研究所・十日町))
- P2-35 高密度雪の圧縮実験 上田雅敏 (荒川政彦・前野紀一 (北大低温研))

教育・普及

- P2-36 氷晶レプリカの簡単な作成方法 平松和彦 (北海道旭川西高等学校)
- P2-37 ミニチュアのなだれ実験で用いるスキーヤーもどき「斜面ライダー」 納口恭明 (防災科学技術研究所)
- P2-38 雪氷科学実験教室の長岡での試み (2002年夏期) 加藤正明 (長岡市立科学博物館)
- P2-39 ちいさな「かざぐるま」 矢作裕 (北海道教育大学名誉教授)

森林

- P2-40 防雪林の成長と幹・枝・葉面積指数の関係について 鳥田宏行^o・佐藤創・明石信廣（北海道立林業試験場）
- P2-41 路傍植栽木の除雪による被害とその対策について 斎藤新一郎（専修大学北海道短期大学）
- P2-42 スギ樹冠による降雪遮断（ ） 嘉戸昭夫^o（富山県林業技術センター），石坂雅昭（防災科研・長岡）
- P2-43 針広混交林の積雪分布について 大原偉樹（森林総研東北支所）

建築

- P2-44 建築物の屋根上積雪荷重に関する研究（その1）-人工雪を用いた風洞実験- 三橋博巳^o（日本大学理工学部），佐藤篤司（防災科研），高橋裕輝・田川洋介（日本大学大学院）
- P2-45 建築物の屋根上積雪荷重に関する研究（その2）-切妻屋根の屋根形状係数について- 三橋博巳（日本大学理工学部），佐藤篤司（防災科研），高橋裕輝^o・田川洋介（日本大学大学院）
- P2-46 昭和基地管理棟後流域のスノウドリフトに関する風洞実験 大久保紀彦^o（日本大学大学院），阿部修（防災科研・新庄），半貫敏夫（日本大学理工学部），遠藤悠介（日本大学大学院），鮎川勝・高橋弘樹（国立極地研究所）

10月10日(木) 15:00~16:30
ポスター発表 第3部

雪氷化学2

- P3-1 中部山岳地域における積雪層化学調査 鈴木啓助^o・横山勝丘(信州大学理学部)
- P3-2 富山県新川地域と立山山域で採取された 木戸瑞佳^o(水博物館構想推進室),長田和雄(名古屋大・環境),飯田肇(立山カルデラ砂防博物館),立山積雪研究会
降水・積雪中の水溶性イオン成分
- P3-3 熱分析による融雪時の溶存イオン水の熱的挙動解析の試み 佐藤和秀^o・畑勝次・山口肇(長岡高専)
- P3-4 多雪山地流域における河川水質変動 山崎学^o・石井吉之(北大低温研)
- P3-5 南極中継拠点(MD364)浅層コアの化学成分解析 五十嵐誠^o・本山秀明・古川晶雄(極地研),戸山陽子・西尾文彦(千葉大),亀田貴雄(北見工大)

計測2

- P3-6 田村式降雪・降雨強度計 田村盛彰(田村雪氷計測研究所)
- P3-7 降水量計の捕捉特性シミュレーション(1) 横山宏太郎(中央農研北陸研究センター),西村寛^o・中沢秀一(MTS雪氷研)
- P3-8 高速シャッタースピード撮影による降雪粒子の自動観測 椎名徹^o・得能彰(富山高専),石坂雅昭(防災科研・長岡),村本健一郎(金沢大学・工学部)
- P3-9 フルイを用いた積雪粒度測定のプロ案 遠藤八十一^o・山野井克己・竹内由香里・村上茂樹・庭野昭二(森林総研十日町)
- P3-10 白黒通風筒による測定気温補正の試み 高橋修平^o・亀田貴雄・佐藤研吾(北見工業大学)

吹雪

- P3-11 北海道立北方建築総合研究所の吹雪風洞装置について 堤拓哉^o・高倉政寛・鈴木大隆(北海道立北方建築総合研究所)
- P3-12 南極における地吹雪による積雪再配分の見積もり 芝木由昭^o・高橋修平・亀田貴雄(北見工業大学)
- P3-13 南極みずほ基地における吹雪観測 西村浩一(北大低温研)
- P3-14 平野部の地吹雪による積雪再配分 佐藤研吾^o・高橋修平(北見工業大学)
- P3-15 北極圏野外観測による非定常状態の吹雪の粒子サイズ分布 杉浦幸之助^o(地球観測フロンティア研究システム),大畑哲夫(地球観測フロンティア研究システム/北大低温研),Daqing Yang(アラスカ大学水文環境研究所)
- P3-16 吹雪の発達に関する風洞実験(8)-吹送距離にともなう粒径別質量フラックスの変化- 小杉健二^o・佐藤威・佐藤篤司(防災科研・雪氷防災部門)
- P3-17 運転挙動にみる防雪柵の整備効果~走行速度と車間距離の改善~ 福澤義文・伊東靖彦・松沢勝・加治屋安彦(北海道開発土木研究所),畠山拓治^o・斎藤正美(日本気象協会)
- P3-18 建物近傍における雪の堆積メカニズム 老川進^o(清水建設(株)技術研究所),苫米地司(北海道工業大学)
- P3-19 吹き止め柵の吹きだまり形状に関する考察 伊東靖彦^o・松沢勝・福澤義文・加治屋安彦(独北海道開発土木研究所)

氷床

- P3-20 第42次南極地域観測隊雪氷観測概要報告 2001-2002 本山秀明^o（極地研），久保栄（金沢大），青木猛（電通大），西村浩一（北大），藤井理行（極地研）
- P3-21 東南極白瀬流域における氷床変動観測 古川晶雄^o・本山秀明（国立極地研究所），福崎順洋（国土交通省国土地理院），岩野祥子（京都大学大学院理学研究科），渡邊興亞（国立極地研究所）
- P3-22 第二期ドームふじコアの現場解析用ラインスキャナーの開発 高田守昌^o（極地研），庄子仁・宮本淳・下原喜美子（北見工大）
- P3-23 南極ドームふじコア火山灰層に含まれる火山灰の給源 河野美香^o・藤井理行・的場澄人（極地研）
- P3-24 南極・中継拠点（MD364）浅層コアの火山シグナルと年代の推定 戸山陽子^o・西尾文彦（千葉大学），五十嵐誠・古川晶雄・本山秀明（極地研），亀田貴雄（北見工大）
- P3-25 North GRIP 2002活動 庄子仁^o（北見工大），渡邊興亜（極地研），中澤高清・青木周司（東北大），東久美子（極地研），川村賢二（東北大），宮本淳（北見工大），高田守昌（極地研），田中洋一（㈱ジオシステムズ），Sepp Kipfstuhl・Johannes Freitag（AWI,Germany）
- P3-26 カナダ、ローガン山における浅層コア掘削 白岩孝行^o（北大低温研），東久美子・的場澄人（極地研），山崎哲秀（アバンナット），瀬川高弘（東工大），金森晶作（北大低温研），松岡健一（地球研），藤井理行（極地研）
- P3-27 氷床氷結晶粒成長速度に対する水溶性不純物及び固体微粒子の影響 小関健司^o（長岡技科大院），武田正（長岡技科大院 / 現：㈱新菱冷熱工業），東信彦（長岡技科大）
- P3-28 単極大型氷床氷の長時間力学試験における結晶組織の発達過程 宮本淳^o・庄子仁（北見工業大学）

海氷・湖氷

- P3-29 過去20年間にわたる南極リュツォ・ホルム湾海氷流出とその要因 牛尾収輝（国立極地研究所）
- P3-30 海氷上の雪氷（snow ice）と上積氷（superimposed ice）の作成実験 河村俊行^o（北大・低温研），松葉谷治（秋田大・工学資源学部），佐藤篤司・鎌田慈（防災科研・新庄）
- P3-31 オホーツク海における春の海氷融解の年々変動と冬期大気循環との関係 河合隆繁（日本大学・院・地球情報数理科学専攻）
- P3-32 屈斜路湖御神渡り現象2002年の特徴について 東海林明雄（北教大）

着氷雪

- P3-33 送電線着雪量推定式の検証 北嶋知樹^o・本郷栄次郎・大庭巨・三上康朗（東京電力(株)）,三浦章（(株)工学気象研究所）
- P3-34 交通信号機の冠雪防止に関する実験 松原鉄弥^o・堀江宏伸・小林俊一・和泉薫（新潟大）,佐藤威（長岡防災研・新庄）
- P3-35 MRIの雪氷現象への応用 - 飛沫着氷・塩水の凍結・積雪の融解 - 尾関俊浩^o（北教大岩見沢校）,巨瀬勝美（筑波大物理工学系）,拝師智之（エム・アール・テクノロジー）,中坪俊一・西村浩一（北大低温研）
- P3-36 山形蔵王の着氷の化学組成の経年変化 松木兼一郎・柳澤文孝^o・山下千尋・斉藤正樹・佐藤澄・吉田知也・中川望・矢野勝俊（山形大学理学部）
- P3-37 雨水発生の気象条件の形成について 松下拓樹^o・権頭芳浩（(株)自然環境科学研究所）

利雪・克雪

- P3-38 複数熱交換井の切替え時間制御による熱出力制御 渡部亮一^o（長岡技科大院）,上村靖司（長岡技科大）
- P3-39 ショベル除雪能力と筋力および筋パワーの関係について 森田勲^o・山口明彦（北海道医療大学）,須田力（北海道大学）
- P3-40 雪貯蔵施設への雪輸送技術に関する研究（その2）- サイクロン分離装置の固気分離効果 - 小林俊市（防災科研・雪氷防災研究部門）
- P3-41 日本における雪室の分布と雪利用文化 - 新潟県内の雪室を中心として - 和泉薫^o・小林俊一（新潟大・災害研）,石坂雅昭（防災科研・長岡）

衛星観測

- P3-42 人工積雪を用いた非球形積雪粒子の波長別双方向反射率測定 谷川朋範^o（筑波大学大学院生命環境科学研究科）,青木輝夫（気象研究所）,八久保晶弘（北見工業大学未利用エネルギー研究センター）,堀雅裕（宇宙開発事業団）,阿部修（防災科学技術研究所）,安仁屋政武（筑波大学地球科学系）
- P3-43 衛星データによるオホーツク準リアルタイム雪氷圏情報の作成 荻野裕司^o・伊賀久晃（北見工業大学）,榎本浩之（北見工業大学/観測フロンティア）
- P3-44 合成開口レーダによる屈斜路湖の御神渡りの検出 中村和樹^o・西尾文彦（千葉大学/CEReS）,東海林明雄（北海道教育大学釧路校）,若林裕之（宇宙開発事業団/EORC）

交通

- P3-45 道路雪氷硬度の比較測定 小林俊市^o・佐藤威・小杉健二（防災科研・雪氷防災研究所部門）

雪形

- P3-46 衛星画像からの雪形を用いたスギ花粉飛散ステージの予測 高橋裕一（山形衛研）,小野瀬浩司^o（山形森研セ）,井上聡（農環研）,川村宏（東北大）

10月11日(金) 9:00~12:00
< A会場 > 口頭発表

氷河(座長:白岩孝行・東信彦)

- A2-1 2001年度氷河湖調査活動報告 - ネパール、イムジャ氷河湖 - 山田知充・西村浩一^o(北大低温研), 坂井亜規子(名大), 齊藤光義(三井金属資源開発株), 原田鉦一郎(宮農短大), 伏見碩二(滋賀県大), 小林俊一(新潟大), 小倉康子(極地研), 藤田耕史(名大), 梅村順(日本大), C.B.グルン(DHM, Nepal)
- A2-2 衛星画像を用いた東ネパール・イムジャ氷河湖モニタリング 矢吹裕伯(地球観測フロンティア研究システム)
- A2-3 モレーン堰き止め氷河湖は何故できるか? 山田知充(北大・低温研), 坂井亜規子^o・内藤望(名大・環境)
- A2-4 ロシア・アルタイ山脈ソフィスキー氷河25.1m深コアのダスト濃度プロファイルに基づく年層境界の推定 河野美香^o(極地研), 中澤文男(名大), 植竹淳(東工大), 亀田貴雄(北見工大), 鈴木啓助(信州大), 藤井理行(極地研)
- A2-5 カムチャツカ・カレイタ氷河における数値モデルを用いた小氷期以降の気候復元 山口悟^o(防災科研・雪氷防災部門), 成瀬廉二・白岩孝行(北大低温研)
- A2-6 Positive degree-day factors for glacier ablation on three glaciers in the Nepalese Himalayas and Tibetan Plateau and its use to calculate basin discharge in Langtang Valley, Nepal Rijan Bhakta KAYASTHA^o・Yutaka AGETA・Koji FUJITA(Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University)

(休憩10分)

- A2-7 氷河表面融解量の2次元分布モデル 紺屋恵子^o・松元高峰・成瀬廉二(北海道大学低温科学研究所)
- A2-8 ヒマラヤ・中央アジア地域の氷河消耗のための簡易熱収支モデル 松田好弘^o・藤田耕史・上田豊・Rijan Bhakta Kayastha(名大・環境), 石川裕彦(京大・防災研), 上野健一(滋賀県立大・環境科学), 萩野谷成徳(気象研), 山田知充(北大・低温研)
- A2-9 Simple simulation model of suspended sediment regime on a glacial river G.E.Glazirin^o・T.Matsumoto・T.Yamada(Institute of Low Temperature Sciences, Hokkaido University, Japan)
- A2-10 Wave-like forms in water channels within cold ice E.V.Isenko^o(Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University, Sapporo / Institute of Geography of Russian Academy of Sciences, Moscow), B.R.Mavlyudov(Institute of Geography of Russian Academy of Sciences, Moscow), R.Naruse(Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University, Sapporo)
- A2-11 底面流動が氷河流動場へ与える影響 杉山慎^o・成瀬廉二(北大低温研), G.Hilmar Gudmundsson(British Antarctic Survey)
- A2-12 湖へのカービング特性 - パタゴニア・ペリートモレノ氷河 - 成瀬廉二^o(北大低温研), 小林俊一(新大災害研), Pedro Skvarca(アルゼンチンIAA), 劉大力(北大地環研)

10月11日(金) 9:00~12:00
< B会場 > 口頭発表

雪崩1 (座長: 福嶋祐介・尾関俊浩)

- | | | |
|------|--|--|
| B2-1 | 21世紀に入っても雪崩死亡事故はなくなる
ない - 2001-02年冬期の雪崩災害 - | 和泉薫 ^o ・小林俊一・根本征樹(新潟大災害研),
阿部修・小杉健二(防災科研新庄), 上石勲・新開
龍三郎(株アルゴス) |
| B2-2 | 2002年冬の横倉雪崩観測 | 伊藤文雄 ^o (福井大教地科部), 北川博正(福井県
自然保セ), 福原輝幸(福井大工学部) |
| B2-3 | 航空機搭載型レーザプロファイラを用いた
斜面形状と積雪深分布に関する検討 | 岩男忠明 ^o ・寺田秀樹(国土交通省国土技術政策
総合研究所), 松田宏・織茂郁・本間信一(国際
航業株) |
| B2-4 | ニセコアンヌプリ周辺の雪崩地形と災害
危険区域 | 関口辰夫 ^o (国土地理院), 西村浩一(北大低温
研) |
| B2-5 | 雪崩発生と植生 - 庄川流域上平村の例 - | 山田穰 ^o (防災科研・雪氷防災研究部門), 村國誠
(仙台道路エンジ株) |
| B2-6 | 雪中爆破による人工雪崩発生技術に関する
実験的研究 | 町田誠 ^o (町田建設), 早川典生・加地智彦(長岡
技術科学大学), 川田邦夫(富山大学) |
| B2-7 | 雪中爆破実験による流れ型雪崩の流動シミ
ュレーション | 加地智彦 ^o ・早川典生・上石勲(長岡技術科学大
学), 町田誠(町田建設) |

(休憩10分)

- | | | |
|-------|--------------------------------|---|
| B2-8 | ブロック雪崩に関する実験的研究 | 庄司淳 ^o ・笠井孝洋・山家淳史・和泉薫・小林俊一
(新潟大学災害研) |
| B2-9 | 大規模雪崩の動態観測 | 秋山一弥 ^o (土木研究所新潟試験所), 原田裕介・
春山哲也・池田慎二(株アルゴス雪氷技術センタ
ー) |
| B2-10 | 雪崩内部の周期的構造 | 伊藤陽一 ^o ・西村浩一(北大低温研), 川田邦夫(
富山大学), 和泉薫(新潟大学), 飯田肇(立山カ
ルデラ砂防博物館) |
| B2-11 | k-ε乱流モデルを用いた煙型雪崩の数値
解析手法の検討 | 衛藤俊彦 ^o (長岡技術科学大学大学院), 福嶋祐介
(長岡技術科学大学環境・建設系) |
| B2-12 | 模擬雪崩の流速ベクトル測定結果と数値
解析結果の比較 | 福嶋祐介 ^o ・衛藤俊彦(長岡技大), 高木正徳(ダ
イナム), 榎本真人(中部) |

10月11日(金)
< A会場 >

13:00~17:30
口頭発表

氷床 (座長: 東久美子)

- A3-1 融解 - 再凍結氷を含む氷コアの結晶組織と古環境復元 奥山純一^o (北海道大学大学院地球環境科学研究科), 堀彰・成田英器・本堂武夫 (北海道大学低温科学研究所)
- A3-2 南極ドームフルートにおける陸海域起源物質の分布特性 (1995/96) 藤井理行^o・神山孝吉・藤田秀二・本山秀明・渡邊興亜 (極地研)
- A3-3 南極ドームF表面層の密度変動シミュレーション 嵯峨浩美^o (長岡技術科学大学大学院), 周嶷瑩・東信彦 (長岡技術科学大学)

雪氷化学 (座長: 柳澤文孝)

- A3-4 南極ドームふじ地域における夏季降雪・積雪の硫酸イオン濃度の低下 飯塚芳徳^o (低温研), 藤井理行 (極地研), 鈴木利孝 (山形大理学部), 古川晶雄 (極地研), 松岡健一 (ワシントン大)
- A3-5 南極ドーム南 (DFS) 浅層コアの化学成分解析 五十嵐誠^o・本山秀明・古川晶雄 (極地研), 戸山陽子・西尾文彦 (千葉大), 亀田貴雄 (北見工大)
- A3-6 ドームふじコアECMピーク周辺の化学成分の挙動 的場澄人^o・藤井理行・藤田秀二・本山秀明・渡邊興亜 (極地研)
- A3-7 融雪水の水質変動の長期観測 () 山崎学^o・佐藤大輔・石井吉之 (北大低温研)
- A3-8 温暖積雪地流域における河川水質変動 倉元隆之^o・鈴木啓助 (信州大学)

(休憩10分)

凍土・凍上 (座長: 原田鉦一郎)

- A3-9 凍着剪断強度に及ぼす垂直方向応力の影響 - 粘土凍土と鉄材の場合 - 森内浩史^o・上田保司・生頼孝博 (㈱精研)
- A3-10 砂凍土の圧縮弾性係数への供試体端面緩みの影響 上田保司^o・隅谷大作・生頼孝博 (㈱精研)
- A3-11 凍害を受ける切土軟岩の室内凍上試験 根井剛一 (北海学園大学大学院), 小野丘 (北海学園大学), 谷中保男 (東京電力㈱)
- A3-12 土壁の凍結劣化に関する研究 石崎武志^o・瀧野沢聡子 (東京文化財研究所), 武田一夫 (MTS雪氷研究所)
- A3-13 シベリア・ティクシ近郊の活動層土壌の熱拡散係数の季節変化 渡辺晋生 (三重大)

融雪、利雪・克雪 (座長: 上村靖司)

- A3-14 下水処理水を用いた歩道融雪技術 有地裕之^o・玉津卓生 (鶴岡市), 東浦將夫 (東北公益文科大学)
- A3-15 地中熱冬期採熱量の予測方法の検討 安彦宏人・秋山純一 (日本地下水開発㈱), 土屋睦^o (日本環境科学㈱)
- A3-16 細管導入熱サイホンにおける液輸送の飛躍的増大 対馬勝年^o (富山大), 長井茂・尾形賢 (日本エコエネルギー研), 安江経和 (日本産業工業会)
- A3-17 路面融雪剤濃度の自動連続観測方法について 佐野弘^o・宮本重信 (福井県雪対策・建設技術研究所)
- A3-18 雪冷熱を用いる原子力発電施設の出力制御の構想 上村靖司^o (長岡技科大), 戸井田隆行

10月11日(金)
< B会場 >

13:00 ~ 17:30
口頭発表

雪崩2 (座長: 水津重雄)

- | | | |
|------|------------------------------|---|
| B3-1 | 雪崩規模推定のための定量的相互評価法 | 永井拓三 ^o (新潟大学大学院自然科学研究科),
上條賢一・加藤貴臣 (東洋大学大学院生命科学研究科) |
| B3-2 | 支笏湖畔における雪崩発生予測手法について | 下澤徹也 ^o ・三岡孝文 (アジア航測株), 三好達夫・山際祐司 (独立行政法人北海道開発土木研究所) |
| B3-3 | 雪崩多発地帯における気象条件変化に関する情報構造学的研究 | 加藤貴臣 ^o (東洋大学大学院生命科学研究科),
永井拓三 (新潟大学大学院自然科学研究科), 上條賢一 (東洋大学大学院生命科学研究科) |

建築 (座長: 老川進)

- | | | |
|------|----------------------------|---|
| B3-4 | 畜舎施設における実大屋根で発生する降雪の観測 | 千葉隆弘 ^o (株雪研スノーイーターズ), 小林敏道 (有コバ建築事務所), 苫米地司 (北海道工業大学建築学科), 干場信司 (酪農学園大学) |
| B3-5 | 積雪寒冷条件が畜舎施設の建設コストにおよぼす影響 | 苫米地司 ^o (北海道工業大学), 小林敏道, 干場信司 |
| B3-6 | 積雪地域における床面の水分量とすべり抵抗に関する研究 | 内藤恵 ^o (北海道工業大学大学院), 細川和彦・苫米地司 (北海道工業大学) |
| B3-7 | 建設現場における雪の有効利用に関する実験的研究 | 松村光太郎 ^o (小山高専), 南部正樹 (新潟大), 砂庭悠道・藤原聡 (千葉大) |

降雪 (座長: 石坂雅昭)

- | | | |
|-------|--|--|
| B3-8 | ドップラーレーダ観測による降雪特性解析 | 足立俊三・辻本浩史・清水基成 ^o (日本気象協会) |
| B3-9 | 電場内で成長する雪結晶の形態 | 油川英明 (北海道教育大学・岩見沢校) |
| B3-10 | 北海道と本州の降雪特性の比較 | 力石國男 ^o ・高森泰人・宮畑信吾・半田友美 (弘前大学理工学部) |
| B3-11 | 積雪融雪時期の広域地表面水収支の解明に向けた、冬季日本海沿岸域の降雪数値実験 | 熊倉俊郎 ^o ・早川典生 (長岡技術科学大学) |

(休憩10分)

積雪分布（座長：山谷睦）

- B3-12 GISを利用した広域積雪環境モデル(6) - 広域融雪・積雪水量モデルの検証 - 水津重雄（㈱ジオシステムズ）
- B3-13 温暖な気候変化は日本の積雪地域をどのように変えるか 石坂雅昭（防災科研・雪氷防災研究部門）

海氷・湖氷（座長：舘山一孝）

- B3-14 融解期における海氷の諸特性の変化 小嶋真輔[○]（北見工業大学）、榎本浩之（北見工業大学 / 観測フロンティア）
- B3-15 オホーツク海の海氷輸送量 - 衛星による海氷厚および移動観測データの作成と利用 - 榎本浩之[○]（北見工大，地球観測フロンティア），舘山一孝（北大流水研），熊野隆史（北見工大）
- B3-16 最近10年間（1992-2002）のオホーツク海海氷域の変動の特徴 舘山一孝[○]（北大流水研），榎本浩之（北見工大，地球観測フロンティア），白澤邦男（北大流水研），熊野隆史（北見工大）
- B3-17 オホーツク海における海氷発達の数値シミュレーション 松沢孝俊[○]（科学技術振興事業団），山口一・小村隆士（東大）
- B3-18 船上観測によるリュッツォホルム湾定着氷の氷厚分布について 宇都正太郎[○]・下田春人・泉山耕（海上技術安全研究所）